

熊本県立教育センター賞

はねぎ川の生きものたち

玉名市立玉名町小学校 2年 さくらい 太ろう

1 しらべること

春になると、ぼくは毎年、はけみやこうえんなどで魚をとります。でも、ぼくの学校の近くを流れているはねぎ川では魚をとったことはありません。はねぎ川には一体どんな生きものがいるのかな。ぼくは知りたくなりました。そこではねぎ川にいる生きものをしらべることになりました。

2 しらべるほうほう

- (1) はねぎ川に行ってどんな生きものがいるか調べ、調べに行った日や時間、生きものの種類などを書く。
- (2) (1)を見て はねぎ川生きものマップ をつくる。
- (3) (1)を見て はねぎ川生きものずかん をつくる。

3 しらべたけっか

- (1) はねぎ川の生きものしらべ

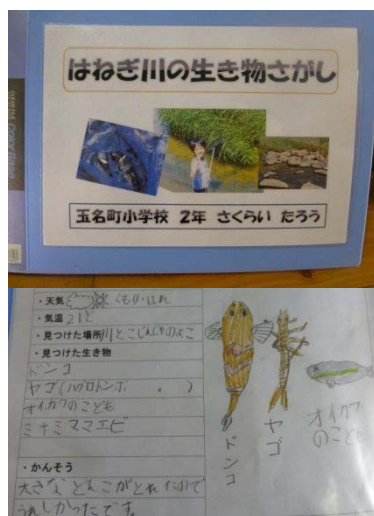
5月から天気のいい日曜日などに、はねぎ川の生きものさがしに行きました。気温は21℃から33℃でした。しらべた場所は、山の近くのほそいり川から市役所の近くまでです。たくさんいたのはシマドジョウやカマツカ、オイカワでした。

- (2) はねぎ川生きものマップ (例)



(3) はねぎ川生きものずかん

はねぎ川には、いろんな生きものがいました。その生きものの名前と、大きさ、いたばしょなどを書きました。はねぎ川には、36しゅるいの生きものがいました。



4 新たなぎもととそのけっか

はねぎ川の同じ地点でも、流れのはやいところとおそいところでは、魚の種類がちがっていました。そしてその土のようすもちがっていました。そこで、田んぼや川の土をとってきて土のようすと生き物の種類をくらべてみました。

土のようす	大きな石やすな	ほとんどがすな	ほとんどがどろ
ばしょ (地点)	三ツ川小より上流	三ツ川小より下流の流れがはやいところ	三ツ川小より下流の流れがゆっくりのところ
おもな生きもの	サワガニ、ヨシノボリ カワニナ	オイカワ、アブラハヤ カマツカ、シマドジョウ	メダカ、ギンブナ、タナゴ ミナミヌマエビ ヤマトヌマエビ、ヤゴ
気づいたこと	- 水が冷たくて流れが速い - 水草はほとんど生えていない	- すなの大きさは水の流れが速いほど大きい - 水草は生えていない。 - 下流の方が魚が大きい	- 生きものの種類が一番多い - 水は上流ほど冷たい - 水草 (アナカリス等) がたくさん生えている

5 けんきゅうのまとめ

- (1) 三ツ川小学校より上流には、大きめの石がごろごろところがありました。石の近くにはサワガニがいて、石にはたくさんのカワニナがついていました。また、すなのところや、石の上の流れがあるところには、ヨシノボリがいました。
- (2) 三ツ川小学校のよこより下流の、すなの多い流れのあるところには、シマドジョウやカマツカ、オイカワなどがおよいでいました。流れのないよどみの部分は、泥が多く、メダカやフナやタナゴいました。また、アオイトトンボがあつまっていました。
- (3) ぼくは、はねぎ川とその近くで、36しゅるいの生きものに会うことができました。上流や下流、川の流れのはやさや、土のようすなどによって、上手にすみ分けているところがすごいと思いました。これからは、水温による生きもののちがいや、生えている植物と生きもののかんけいなどをくわしくしらべてみたいと思いました。